

令和2年度事業報告書

I. 事業の概要

本財団の設立目的に添って令和2年度も、細胞科学分野における研究助成10件、国内若手研究者の育成助成として海外への留学4件、国際交流助成として国際学会等への研究者招聘4件を実施した。

令和3年度の各種助成のためにそれぞれの募集細目を検討・決定し募集を行った結果、研究助成56件、育成助成10件（うち2件は審査中に申請を取り下げ）、国際交流助成5件の応募があった。これらについて、選考委員会による厳正なる審査を行い、令和3年度助成対象者を選出した。また、平成30年度各種助成金贈呈者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、助成研究報告集を発刊した。

II. 事業の内容

1. 令和2年度助成金の交付

令和2年度各種助成については、研究助成10件、育成助成4件および国際交流助成4件が令和2年3月5日開催の平成31年度第3回理事会において議決承認された。令和2年4月より研究助成10件（1件300万円、総額3,000万円）、育成助成4件（1件240万円、総額960万円）および国際交流助成4件（1件50万円、総額200万円）のそれぞれに順次、助成金を交付した。〔資料1〕

2. 令和2年度研究助成金贈呈式の中止

令和2年度研究助成受領者を対象に研究助成金贈呈式を次のとおり予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、開催を中止した。

開催日時：令和2年6月6日（土）午前11時30分より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町19-19）

3. 令和3年度助成事業

（1）各種助成の募集の細目

令和2年4月23日開催の企画委員会（Web開催）での検討を経て、令和2年5月7日の第1回理事会（書面決議）で以下のように決定した。

研究助成

募集テーマ：①新興・再興感染症
②糖尿病をめぐる最新の動向

応募受付期間：令和2年9月1日から令和2年9月30日まで

専門委員：テーマ① 松浦 善治（大阪大学微生物病研究所 分子ウイルス分野 教授）
小池 和彦（東京大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授）

テーマ② 門脇 孝（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長）
清水 孝雄（国立国際医療研究センター プロジェクト長，
東京大学名誉教授）

※所属・役職は就任時

育成助成および国際交流助成

応募受付期間：令和2年9月1日から令和2年10月30日まで [資料2]

(2) 募集

研究助成

全国の国公立私立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関および大学附設の研究施設 170 余を対象に募集要項を郵送するほか財団ホームページに公開した結果、応募数は計 56 件（テーマ①：28 件、テーマ②：28 件）であった。

育成助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は 10 件（海外）であった。（うち 2 件は審査中に申請取り下げ）

国際交流助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は 5 件（招聘）であった。

(3) 選考

研究助成：三段階方式による選考

1. 令和2年10月12日～11月12日：テーマ別の選考委員および専門委員による第一次予備審査（書面）により第二次予備審査対象として 24 件（テーマ①：12 件、テーマ②：12 件）に絞られた。
2. 令和2年11月30日～令和3年1月12日：選考委員および専門委員による第二

次予備審査（書面）が行われた。

3. 令和3年1月25日：本審査（以下の通り）

育成助成および国際交流助成

1. 令和2年11月30日～令和3年1月12日：選考委員による予備審査（書面）により採点。
2. 令和3年1月25日：本審査（以下の通り）

令和3年1月25日：本審査（Webによるテレビ会議）

開催日時：令和3年1月25日（月）午後3時より

場 所：細胞科学研究財団事務所（大阪市中央区道修町3-1-8）

選考委員および専門委員により令和3年度各種助成交付対象者（研究助成10件、1件300万円総額3,000万円、育成助成4件、1件240万円総額960万円および国際交流助成5件、1件40万円総額200万円）が選出され、理事長に答申された。令和3年3月4日に開催された第3回理事会において、原案通り議決承認された。なお、理事会後に育成助成交付対象者1名より辞退の申し出があったため、次点者の繰り上げを行った。〔資料3〕

4. 助成研究報告集等

平成30年度各種助成金受領者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめた細胞科学研究財団助成研究報告集第31巻（令和2年）、および財団年報第32号（平成31年度）を一冊にまとめて「助成研究報告集・年報第5巻（令和2年）」として令和2年10月1日に発刊し、全国の国公立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関、大学附設の研究施設および国会図書館等に送付した。

Ⅲ. 財団運営の概況

1. 第1回理事会（理事会の決議の省略による方法）

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、令和2年5月7日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 平成31年度事業報告および平成31年度財務諸表の件：原案通り承認

可決された。

- 第2号議題 令和3年度各種助成募集に関する件：原案通り承認可決された。
- 第3号議題 令和2年度定時評議員会開催日、場所、目的である事項の件：原案通り承認可決された。
- 第4号議題 選考委員会規程改定の件：原案通り承認可決された。
- 第5号議題 令和2年度国際交流助成対象の内容変更の件：原案通り承認可決された。

2. 定時評議員会（電話会議）

開催日時：令和2年6月6日（土）午前10時より

場 所：塩野義製薬株式会社 本社10階会議室（大阪市中央区道修町3-1-8）

- 第1号議題 議長選任の件：互選により大谷光昭氏が評議員会議長に選任された。
 - 第2号議題 議事録署名人選任の件：議長のほか互選により澤田拓子氏および花崎浩二氏が選任された。
 - 第3号議題 平成31年度事業報告および平成31年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。
 - 第4号議題 理事及び評議員選任の件：原案通り承認可決された。
 - 第5号議題 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程改定の件：原案通り承認可決された。
- 報告事項1 令和3年度各種助成募集について：令和2年度第1回理事会で承認されたことを報告した。
- 報告事項2 内閣府立入検査について：令和元年12月13日に行われた内閣府立入検査について報告した。
- 報告事項3 特定費用準備資金の設置について：基本財産及び特定資産管理規程に特定費用準備資金を規定する条項を追加することについて、平成31年度第3回理事会で承認されたこと、また同規定の改廃には評議員会の決議も必要とする旨を追加することについて、令和2年度第2回理事会に諮ることを報告した。
- 報告事項4 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う交付済助成対象の内容変更について：基本方針を理事会で決議し、個々の案件については理事長決裁とすることについて令和2年度第2回理事会に諮ることを報告した。

3. 第2回理事会（電話会議）

開催日時：令和2年6月6日（土）午前11時より

場 所：塩野義製薬株式会社 本社10階会議室（大阪府中央区道修町3-1-8）

第1号議題 理事長、常務理事選定の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 定期提出書類の件：原案通り承認可決された。なお、昨年の剰余金については、国際交流助成の件数を拡大して費消したことを報告した。

第3号議題 助成金準備資金設置の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 基本財産及び特定資産管理規程改定の件：原案通り承認可決された。

第5号議題 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う交付済助成対象の内容変更について：原案通り承認可決された。

報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は令和2年3月5日以降の業務執行状況報告を行った。

4. 第3回理事会（電話会議）

開催日時：令和3年3月4日（木）午後4時より

場 所：塩野義製薬株式会社 本社10階会議室（大阪府中央区道修町3-1-8）

第1号議題 令和3年度事業計画の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 令和3年度収支予算の件：原案通り承認可決された。

第3号議題 資金調達及び設備投資の見込みについて：原案通り承認可決された。

第4号議題 令和3年度助成金準備資金取崩しの件：原案通り承認可決された。

第5号議題 令和3年度助成交付者の件：原案通り承認可決された。

第6号議題 選考委員任期満了に伴う改選及び選考委員長選定の件：原案通り承認可決された。

第7号議題 助成金交付規程改定の件：原案通り承認可決された。

報告事項1 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は令和2年度第2回理事会以降本日までの業務執行状況報告を行った。

報告事項2 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う交付済助成対象の内容変更について：第2回理事会以降の経過及び新たに計画を変更することになった2件について報告を行った。

5. その他

令和2年6月16日 理事および評議員の改選に伴う変更登記を行なった。

令和2年6月22日 内閣府に平成31年度事業報告書等の定期提出書類をWeb

提出した。

令和2年7月2日 内閣府に理事および評議員の変更届をWeb提出した。

令和3年3月23日 内閣府に令和3年度事業計画および予算の定期提出書類をWeb提出した。

IV. 添付資料

〔資料1〕 令和2年度各種助成金受領者名簿

〔資料2〕 令和3年度各種助成募集要項

〔資料3〕 令和3年度各種助成金受領者名簿

以上

令和 2 年度 研究助成金受領者
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

テーマ 1 : NAFLD・NASH の基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
清水 逸平 シズ イッパイ	新潟大学大学院医歯学総合研究科 先進老化制御学講座・特任准教授	分泌型線維化促進分子を標的とした非アルコール性脂肪性肝炎の治療法の開発
中川 勇人 ナカガワ ハト	東京大学医学部附属病院 消化器内科・特任講師 (病院)	進行 NASH における脂肪沈着減少 (Burned-out NASH) の病態解明とそれに立脚した新規治療法の開発
堀江 貴裕 ホリエ タカヒロ	京都大学医学部附属病院 循環器内科・助教	ノンコーディング RNA 制御による新たな NASH 治療法の開発
柳田 圭介 ヤギダ ケイスケ	国立国際医療研究センター 脂質シグナリングプロジェクト・上級研究員	リン脂質操作マウスツールを用いた多価不飽和脂肪酸による脂肪肝抑制作用機序の解明
羅 智文 ロー ツウエン	公益財団法人がん研究会がん研究所 細胞老化プロジェクト・博士研究員	非アルコール性脂肪性肝炎の脂質代謝異常による発がん機構の解明

テーマ 2 : 遺伝子治療・最近の進歩

研究者	所属機関・職名	研究題目
新井 康之 アライ ヤスユキ	京都大学医学部附属病院 検査部・細胞療法センター・助教	ゲノム編集技術を用いた効果増強型キメラ抗原受容体 (CAR) T 細胞の開発
遠藤 裕介 エントウ ユウスケ	かずさ DNA 研究所 先端研究開発部 オミックス医科学研究室・室長	CRISPR/Cas9 TGA システムによるアレルギー疾患の新規治療法開発
二村 圭祐 ニムラ ケイスケ	大阪大学大学院医学系研究科 遺伝子治療学・准教授	腫瘍増悪化を惹起する選択的 RNA スプライシング特異的制御法の開発
村上 祐介 ムラカミ ユウスケ	九州大学医学研究院 眼科学・助教	クリスタリン網膜症に対する CYP4V2 遺伝子治療薬の開発
吉村 豪兼 ヨシムラ ヒデアキ	信州大学 学術研究院医学系 耳鼻咽喉科・助教	ヒト遺伝性難聴モデルマウスを用いた新規遺伝子治療法の創出

令和2年度 育成助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件 240万円 4件, 960万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
小林 憲市 コバヤシ ケンイチ	滋賀医科大学 泌尿器科学講座・非常勤講師	iPS細胞由来腎オルガノイドを用いた常染色体優性多発性嚢胞腎の病態解明 Massachusetts General Hospital
庄嶋 健作 ショウジマ ケンサク	Salk Institute for Biological Studies 遺伝子発現研究室・ポスドク	生体内リプログラミングによる急性臓器障害治療法開発 Salk Institute for Biological Studies
中村 俊文 ナカムラ トシユキ	慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科・共同研究員	脂肪細胞MRを観点とした慢性腎臓病による血管・代謝障害の病態機序の解明 Cordeliers Research Center
森本 祥悠 モリモト ヨシヒロ	大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科学・大学院生	胃癌におけるMUC1-Cによる山中4因子の活性化と脱分化・可塑性惹起機構の解明 Dana Farber Cancer Institute

令和2年度 国際交流助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件 50万円 4件, 200万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
<p>菊池 章 キチ アキラ</p> <p>大阪大学大学院 医学 系研究科 分子病態生 化学</p>	<p>William Weis</p> <p>スタンフォード大学</p>	<p>Wnt 2020</p> <p>2020/09/22～2020/09/25</p> <p>淡路夢舞台国際会議場 (兵庫県淡路市)</p>
<p>北澤 茂 キタザワ シゲル</p> <p>大阪大学大学院 生命 機能研究科 ダイナミ ックブレインネット ワーク研究室</p>	<p>Catherine Dulac</p> <p>Harvard University</p>	<p>第43回日本神経科学大会</p> <p>2020/07/29～2020/08/01</p> <p>神戸コンベンションセンター</p>
<p>馬場 広子 ババ ヒロコ</p> <p>東京薬科大学薬学部 機能形態学教室</p>	<p>Klaus Nave</p> <p>Max Planck Institute for Experimental Medicine</p>	<p>第63回日本神経化学会大会</p> <p>2020/09/08～2020/09/14</p> <p>いちょうホール (東京都八王子市本町 24番1号)</p>
<p>原 英二 ハラ エイジ</p> <p>大阪大学微生物病研 究所 環境応答研究部 門 遺伝子生物学分 野</p>	<p>Manuel Serrano</p> <p>Institute for Research in Biomedicine (IRB)</p>	<p>国際細胞老化研究会 (ICSA) 2020 年度学 術会議</p> <p>2020/11/02～2020/11/05</p> <p>大阪府立国際会議場 (グランキューブ 大阪)</p>

令和

3

年度

公益財団法人 細胞科学研究財団

研究助成 募集要項

1. 研究助成の対象となる
テーマ： 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究。
但し、本年度の助成研究対象分野として下記のテーマを指定いたします。
- ①「新興・再興感染症」
 - ②「糖尿病をめぐる最新の動向」
2. 助成金額： 300万円/1件
採択件数： 10件以内
3. 応募資格： 国内の研究機関等に所属する令和2年9月1日現在満45才未満の独立した研究者
(大型研究費を受けておられる方はご遠慮ください)
4. 応募方法： (1) Web システムよりご応募ください。
詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。
(2) 必ず、所属機関の長（学長、学部長、学校長、所長、病院長、センター長等）
あるいは所属部門の長（教授、部長、専攻長等）の推薦を得てください。
推薦者は1名に限り推薦できます。ただし、推薦者が複数の機関に所属し
役職を有する場合には、それぞれの所属機関あるいは所属部門から1名に
限り推薦できます。
(3) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。
5. 応募受付期間： 令和2年9月1日（火）より9月30日（水）
6. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
7. 報告義務： 収支報告および研究成果の概要を提出していただきます。
8. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させて
いただきます。
研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
9. 採否通知および
助成金の交付について： 採否は決定後直ち（令和3年3月頃）に申請者へお知らせいたします。
助成金は令和3年4月以降に贈呈いたします。
10. 連絡先： 公益財団法人 細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139
FAX：06-6202-1996
URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

育成助成 募集要項

1. 育成助成対象者：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする日本人の研究者で、国内外において更に高度の育成を受けようとするもののうち次の条件を満たす者とします。

イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者

（各理事または評議員は1名に限り推薦できます）

ロ. 令和2年9月1日現在 満40才以下の研究者

ハ. 受入れ大学または学術研究機関が決定し、年度内（令和3年4月以降令和4年3月末までの間）にその育成の開始が予定されている者（国内育成に関しては、他大学または学術研究機関での育成を受ける場合に限りです）

ニ. 原則として1年以上の育成期間を予定している者

ホ. 同一の研究において他機関からの助成金が、海外：120万円、国内：60万円以下の場合には重複を認めます。

ヘ. 留学先の変更は認められません。

2. 給付金額：

1件240万円まで/年（国内は1件120万円まで/年）

採択件数：

4件程度

3. 給付期間：

1年間

4. 応募方法：

(1) Webシステムよりご応募ください。

詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。

(2) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。

5. 応募受付期間：

令和2年9月1日（火）より10月30日（金）

6. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

7. 報告義務：

収支報告および留学報告書を提出していただきます。

8. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。

研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

9. 採否通知および

助成金の交付について：

採否は決定後直ち（令和3年3月頃）に申請者へお知らせいたします。

助成金は令和3年4月以降に贈呈いたします。

10. 連絡先：

公益財団法人 細胞科学研究財団

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号

TEL：06-6202-2139

FAX：06-6202-1996

URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

国際交流助成 募集要項

1. 国際交流助成対象者：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする研究者で、次の条件を満たす者といたします。

- イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者
(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)
 - ロ. 博士号を有するか、またはそれと同等以上の研究業績を有する者
 - ハ. 年度内（令和3年4月以降令和4年3月末までの間）に開催される細胞科学に関連した国内外での国際学術会議、シンポジウムに講演者として招聘される海外在住の研究者または重要な研究発表を行う国内在住の研究者
- ニ. 国際間における共同研究またはそのための協議等も上記学会への参加に準ずるものといたします。

2. 助成金額：

20～50万円／1件 総額200万円
(助成額は学会への寄与の程度、開催地の遠近、開催期間の長短等を勘案して決定されます。希望助成額の大まかな内訳をご記入ください)

3. 応募方法：

- (1) Web システムよりご応募ください。
詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。
- (2) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。

4. 応募受付期間：

令和2年9月1日（火）より 10月30日（金）

5. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

6. 報告義務：

収支報告および学会出張報告書等を提出していただきます。

7. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。
講演内容あるいは研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

8. 採否通知および 助成金の交付について：

採否は決定後直ち（令和3年3月頃）に申請者へお知らせいたします。
助成金は令和3年4月以降に贈呈いたします。

9. 連絡先：

公益財団法人 細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪府中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139
FAX：06-6202-1996
URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

令和3年度 研究助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件300万円 10件, 計3,000万円)

テーマ1：新興・再興感染症

研究者	所属機関・職名	研究題目
加藤 哲久 カウ アキヒサ	東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 ウイルス病態制御分野・助教	非標準的ウイルス遺伝子解読法の広域ウイルスへの水平展開
河部 剛史 カワベ タケシ	東北大学大学院医学系研究科 病理病態学講座 免疫学分野・助教	新規の自然免疫型T細胞をターゲットとした新たな感染症治療戦略
櫻井 雅之 サクライ マサユキ	東京理科大学 研究推進機構生命医科学研究所・講師	イノシンへのアデノシン塩基脱アミノ化編集を利用した抗ウイルス核酸戦略の開発
原 英樹 ハラ ヒデアキ	慶應義塾大学医学部 微生物学免疫学・特任准教授	マクロファージの炎症応答による感染増悪機構の解明
星野 温 ホシノ アツシ	京都府立医科大学大学院医学研究科・学内講師	Deep Mutational ScanningによるSARS-CoV-2 スパイク蛋白の網羅的感染能評価

テーマ2：糖尿病をめぐる最新の動向

研究者	所属機関・職名	研究題目
五十嵐 正樹 イガラシ マサキ	東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科・助教	腸管上皮細胞の細胞老化に着目した高齢者糖尿病の病態解明
菅原 健二 スガワラ ケンジ	神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科・助教	メトホルミンによる腸管内腔へのグルコース排泄機構の解明
NAWAZ Allah ナワズ アラー	富山大学医学部 分子医科薬理学・助教	インスリン感受性調節におけるM2様マクロファージと前駆脂肪細胞の相互作用機構
長谷川 頌 ハセガワ ショウ	東京大学大学院医学系研究科・腎臓内科学・学振PD 特別研究員	糖尿病性腎臓病における小胞体・ミトコンドリア連関のメカニズム解明
福嶋 葉子 フクシマ ヨウコ	大阪大学大学院医学系研究科 眼免疫再生医学共同研究講座・特任講師 (常勤)	糖尿病網膜症モデルマウスを用いた新規ノンコーディングRNAを標的とする治療法の開発

令和3年度 育成助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件 240万円 4件, 960万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
大町 紘平 オマチ コウヘイ	Washington University in St. Louis School of Medicine Division of Nephrology・ Postdoctoral research scholar	In vivo CRISPR を用いた時空間的な基底膜 構成分子の発現制御による糸球体恒常性維 持機構の解明 Washington University in St. Louis
関谷 博顕 セキヤ ヒロアキ	神戸大学医学部附属病院 脳神経内科・助教	病理学とゲノム解析の融合によるパーキン ソン病における α シヌクレインオリゴマー の神経細胞毒性機序の解明 Mayo clinic
櫛川 舞 ハヅカリ マイ	福岡大学薬学部・助教	自己組織化ペプチドで指向性制御する次世 代カスタム核酸医薬の開発 ライデン大学
三宅 優一郎 ミヤケ ユウイチロウ	順天堂大学医学部附属順 天堂医院 小児外科・小児 泌尿生殖器外科・助教	環状 RNA を観点とした横隔膜ヘルニアにお ける肺低形成の病態解明 University of Manitoba

令和3年度 国際交流助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件40万円 5件, 200万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
窪田 芳之 クボタ ヨシユキ 自然科学研究機構 生理学研究所 基盤神経科学研究領域 大脳神経回路論研究部門	Jackie Schiller Technion Medical School	自然科学研究機構 生理学研究所 2021/10/01 ~ 2021/11/30 愛知県岡崎市明大寺町東山5-1
鈴木 洋 スズキ ヒロシ 名古屋大学大学院医学系研究科 分子腫瘍学	Phillip A. Sharp Massachusetts Institute of Technology	第94回日本生化学大会 2021/11/03 ~ 2021/11/05 横浜
尾藤 晴彦 ビトウ ハルヒコ 東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 神経生化学分野	Eleanor Maguire University College London	第44回日本神経科学大会 2021/07/28 ~ 2021/07/31 神戸コンベンションセンター
山田 修平 ヤマダ シュウヘイ 名城大学薬学部	Stephen Peter Robertson オタゴ大学	日本薬学会第142年会 2022/03/25 ~ 2022/03/28 名古屋
和中 明生 ワカ アキオ 奈良県立医科大学 解剖学第二講座	森下 博文 マウントサイナイ医科大学	第64回日本神経化学学会大会 2021/09/30 ~ 2021/10/01 奈良市

前記のとおりご報告いたします。

令和3年6月

公益財団法人 細胞科学研究財団

理事長 塩野元三